

白山小学校学校運営協議会

はくざんコミュニティ・スクールだより

わくわく学習部会

平成30年11月28日発行 第6号



グラウンドゴルフに挑戦



3年生は、はくざんっ子学習「はくざんっ子応援団となかよし」で、10月22日、29日、11月15日に老人クラブの皆さんからグラウンドゴルフを教わりました。子どもたちは、クラブの持ち方やボールの打ち方のコツを聞いて、だんだん上手になっていきました。最終日には、サポーターの皆さんと一緒にゲームをして、ホールインワンが出た子どももいました。サポーターの方からは、「グラウンドゴルフが3日間で上達したように、勉強でも何でも努力をしたら上達するから頑張っ
てね。」「みんながはつらつとがんばる姿を見て、私たちも楽しく過ごさせてもらった。ありがとう。」とお言葉をいただきました。3日間で、老人クラブの皆さんと親睦を深めることができました。



わくわく学習部会

谷川木工芸を訪問しました



6年生は、はくざんっ子学習で木桶製作所「谷川木工芸」を訪問しました。以下、子どもの学習のまとめを紹介します。

伝統工芸師になるまでには、20年という長い年月がかかっていることが分かりました。

また、いろいろな経験を積み重ねて、かんでしている作業がありました。

プラスチックや金属の容器もあるけど、手作りのよさを感じました。

私も木おけをしっかりと使って大切にしたいです。かまんやしんぼうをすることも大切にしたいです。



香川県には2けんしかおけ屋さんがありません。四国でも4けんしかないそうです。細かな工夫をたくさんしてお客さんが買ってくれた後の修理までしてくれるものづくりをしたいという気持ちがあるそうです。私はお客さんが買ってくれたその先のことまでしっかり考えられていて見通しがもてることは大切なことだと思いました。

すくすく健康部会

「お弁当の日」



10月26日に6年生は、家庭科で学習した栄養バランスを考えたお弁当作りをしました。赤、黄、緑と色とりどりのお弁当を見せ合いながら、おいしそうにほおぼっていました。子どもたちは、早起きをして家族に助けてもらいながらも、お弁当を作りました。作ることを楽しただけでなく、毎日の食事の準備をする家族に感謝できました。



はぐくみ運動スペシャル

わくわく学習部会では、10月5日から10月19日まで、はぐくみ運動スペシャルを実施し、家族や親子と一緒に運動したり、遊んだりする機会をもちました。家族での取り組みの様子を写真で紹介してくれる家庭も増えています。次回2月のはぐくみ運動実施時に今回の活動の様子についてスペシャルだよりを作成し配布する予定です。今回は、一部を紹介します。

お父さんとつりへ行き、いろいろな魚が釣れて楽しかったです。(1年)

はじめて息子と2人でつりに行きました。とても楽しそうな笑顔が見られてうれしかったです。

オムレツをいっしょに作り、いためるのが楽しかったです。「助かるわ。」と言われました。(2年)

本当に助かりました。今後も時々新しいことに挑戦してできることを増やして行ってほしいです。

家族でトランプをいっしょにできてとても楽しかったです。お母さんはとても強く勝てませんでした。(3年)

なかなか一緒に遊ぶ時間がないけれど、時間を見つけて楽しい時間を作りたいと思います。

裁縫でまっすぐ縫うことは、難しかったけれど、お母さんに教わりながら上手にできました。次は、もっと大きいのに挑戦したいです。(4年)

上手に作れました。また一緒に作ろうね。

おばあちゃんに教えてもらいながら上手にお風呂掃除ができたので良かったです。(5年)

きれいなお風呂に入れたので、気持ちがよかったです。

母といっしょに作ったサンドイッチを白山の頂上で食べました。帰りは足場ががたがたで、まるで冒険をしているような道でした。迫力があってとても楽しかったです。(6年)

帰りは上級コースをがんばりました。母は足がガタガタです。

第3回学校運営協議会

10月31日に、第3回学校運営協議会が開かれました。協議内容は以下のとおりです。

- ・ わくわく学習部会で実施したわくわく講座は今年のような猛暑の場合は、再検討する。特に屋外や体育館で行うスポーツ系の講座は、内容の変更や時期をずらすなどの対応が必要である。
- ・ にこにこ生活部会では、ベルマーク整理やアルミ缶回収などリサイクル活動に力を入れた。1月には「ようこそ先輩」で、白山小学校卒業生でファジアーノ岡山のコーチ原田貴志さんに来ていただく予定だ。ふれあい遠足は行き先を開拓する。雨天の場合の予備日も検討したい。
- ・ すくすく健康部会で実施した「米作り」や「おにぎりチャレンジ」などを通して子どもたちの食や農業への関心が年々高まっている。奥山での防災キャンプの成果と課題を整理した。(香川大学教育学部教授 柳澤良明先生の助言)
- ・ 学校には各教科や総合学習とコミュニティ・スクールにおける活動をつなげていくカリキュラムマネジメントが求められている。子どもたちが体験と普段の学習がつながっていると気づいたとき、もっと楽しく主体的に学習に取り組める。
- ・ コミュニティ・スクールの活動は、「ようこそ先輩」のように先輩や地域、多方面の方と接する機会がたくさんあり、早いうちから将来の仕事ややりたいことを考えるきっかけとなっている。
- ・ 参画・合意形成・意思決定がこれからますます求められる時代になる。子どもたちが中心になって行事を企画・運営するなど、子どもが参画する取り組みを大切にしよう。